



2025年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 株式会社リファインバースグループ 上場取引所 東
コード番号 7375 URL <https://www.r-inverse.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 蓮池 智嗣 TEL 03(6281)4879
定時株主総会開催予定日 2025年9月29日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年9月30日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期の連結業績(2024年7月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	4,070	5.7	182	457.7	151	—	146	—
2024年6月期	3,852	△13.8	32	△84.5	6	△96.3	4	—

(注) 包括利益 2025年6月期 146百万円(—%) 2024年6月期 4百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年6月期	43.63	—	105.4	4.4	4.5
2024年6月期	1.47	—	8.2	0.2	0.8

(参考) 持分法投資損益 2025年6月期 ー百万円 2024年6月期 ー百万円

(注) 2024年6月期及び2025年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	3,461	274	6.1	63.20
2024年6月期	3,365	130	1.9	19.57

(参考) 自己資本 2025年6月期 211百万円 2024年6月期 65百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	459	△126	△153	678
2024年6月期	175	△136	△399	498

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	4,800	17.9	380	108.5	330	118.2	300	105.4	89.60

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社（社名）— 、除外 —社（社名）—
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年6月期	3,348,421株	2024年6月期	3,348,421株
② 期末自己株式数	2025年6月期	137株	2024年6月期	137株
③ 期中平均株式数	2025年6月期	3,348,284株	2024年6月期	3,342,245株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年6月期の個別業績（2024年7月1日～2025年6月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	407	1.6	△66	—	15	△96.7	16	△96.4
2024年6月期	400	△16.5	△129	—	464	—	464	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期	5.00	—
2024年6月期	139.00	—

(注) 2024年6月期及び2025年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
2025年6月期の経常利益が前期比△96.7%、当期純利益が△96.4%となっておりますが、これは、子会社受取配当金が88百万円（前期比512百万円減）となったことによるものです。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	788	75	1.6	3.71
2024年6月期	630	60	△0.7	△1.29

(参考) 自己資本 2025年6月期 12百万円 2024年6月期 △4百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度において当社グループは、前期に引き続き既存事業の売上拡大とコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる新規事業領域の拡大に向けて事業基盤の強化に努めてまいりました。また、脱炭素やサーキュラーエコノミーの文脈において事業機会が大幅に増加しており、事業化の取組みを加速しております。従来の廃棄物処理モデルの変革を進め、新しい産業の創出により社会の持続的発展に寄与することを目的に活動を続け、素材再生企業として独自技術によるユニークなビジネスモデルでマテリアルサイクルを実現し、資源循環において新たな付加価値を創造するSX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に挑戦しております。

素材ビジネスにおいては、顧客のサーキュラー化の取組みが加速しており、当社の主力製品である再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の需要が旺盛なことに加え、再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）はPCR（Post Consumer recycle）ナイロンであることが強みとなり多数のお問合せをいただいております。加えて、国内外を問わず外部企業等との連携や弊社技術のライセンス供与等の取組みも加速しており、更なる成長のための基盤拡大が進展しております。

資源ビジネスにおいては、セグメント横断での顧客開拓を推進した結果、過去最高水準の受注となりました。

また、資本業務提携先である三菱ケミカル株式会社が計画する油化ケミカルリサイクル事業への廃プラスチック原料供給に向けて、廃プラスチックの調達網構築を進めており、当社が推進する資源循環プラットフォーム構築を新たな事業の柱として収益基盤の強化に努めてまいります。

この結果、当連結会計年度における経営成績は、売上高4,070,479千円（前期比5.7%増）、営業利益182,224千円（前期比457.7%増）、経常利益151,206千円（前期比2,201.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益146,082千円（前期比2,864.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

① 素材ビジネス

素材ビジネスにつきましては、前期に引き続きセグメント損益は黒字で推移しております。脱炭素、資源循環の市場ニーズの高まりを受け、顧客のサーキュラー化の取組みは加速しており、使用済みタイルカーペットを再資源化した再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の需要は大幅に増加しております。需要増加に対して一時的な需給ギャップが発生しておりましたが現在は沈静化しており、タイルカーペトリサイクル事業の売上高は前期比増となりました。今後も需要増が見込まれることから廃タイルカーペットの調達をさらに強化してまいります。また、自動車エアバッグの基布や廃棄漁網等を再資源化したナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）は、PCR（Post Consumer recycle）ナイロンであることが強みとなり大手顧客からの引き合いが増加しております。当期においては、大手顧客からの品質要求に対応するため生産体制、品質管理体制の見直しを実施したことにより生産量が減少した結果、売上高は前期比減となりましたが、生産・品質管理体制再構築により翌期以降で受注量増加を見込んでおります。また、国内外の複数の企業から当社リサイクル技術に関する問合せを受け、ライセンス提供を視野に協議を続けてまいります。このように、当社の再生素材、リサイクル技術に対する引合いは増加しており、収益機会が拡大しております。

さらに、資本業務提携先である三菱ケミカル株式会社が計画する油化ケミカルリサイクル事業を始めとした廃プラスチック原料供給事業の早期立ち上げに向けた体制整備を進めており、翌期以降の収益基盤の強化を進めてまいります。

この結果、売上高は1,295,373千円（前期比6.9%減）となり、セグメント利益は49,096千円（前期比59.8%減）となりました。

② 資源ビジネス

資源ビジネスにつきましては、素材・資源セグメント連動で脱炭素・サーキュラー文脈での営業活動を推進した結果、大手ディベロッパーや大手ゼネコン等の新規取引先が相当数増加しました。当期においては過去最高水準の受注件数となり前期比で売上高増加となりました。また、オペレーションの見直しやリソースの最適化を進めた結果、収益性は大幅に改善いたしました。さらに、油化ケミカルリサイクルを始めとする廃プラスチック資源循環事業の調達網の整備を進めており、翌期以降の収益基盤の強化を進めてまいります。

この結果、売上高は2,850,051千円(前期比13.0%増)、セグメント利益は606,508千円(前期比24.6%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末(以下「前年度末」という)に比べ96,067千円増加の3,461,986千円(前年度末は3,365,918千円)となりました。

流動資産は1,432,939千円となり、前年度末と比べ124,112千円増加しております。これは主として現金及び預金が180,258千円増加したことによるものです。

固定資産は2,029,046千円となり、前年度末と比べ28,044千円減少しております。これは、主として有形固定資産が42,281千円減少、敷金及び保証金が32,308千円減少したことによるものです。

(負債)

当連結会計年度末の負債合計は、前年度末に比べ48,129千円減少の3,187,580千円(前年度末は3,235,709千円)となりました。

流動負債は1,108,145千円となり、前年度末と比べ97,994千円増加しております。これは、主として支払手形及び買掛金が26,009千円増加、1年以内返済予定の長期借入金が73,684千円増加したことによるものです。

固定負債は2,079,434千円となり、前年度末と比べ146,124千円減少しております。これは、主として長期借入金175,973千円減少したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、前年度末に比べ144,197千円増加の274,406千円(前年度末は130,209千円)となりました。これは、主として利益剰余金が146,082千円増加したことによるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、678,776千円(前連結会計年度末比36.2%増)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は459,656千円(前連結会計年度に得られた資金は175,415千円)となりました。これは主として税金等調整前当期純利益131,088千円、減価償却費225,837千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出された資金は126,063千円(前連結会計年度に支出された資金は136,557千円)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出160,133千円、敷金及び保証金の返還による収入41,990千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出された資金は153,334千円(前連結会計年度に支出された資金は399,857千円)となりました。これは主に長期借入による収入420,000千円、長期借入金の返済による支出522,289千円、リース債務の返済による支出70,493千円によるものであります。

（4）今後の見通し

2026年6月期において当社グループは、2028年6月期を最終年度とする中期経営計画の達成に向けて、脱炭素やサーキュラーエコノミーの文脈により増加している事業機会への取組みをさらに加速してまいります。

素材ビジネスについては、ビルの環境性能向上に貢献するタイルカーペットのリサイクルをフックとして使用済みタイルカーペットの調達量拡大をさらに進め、再生塩化ビニルコンパウンド「リファインパウダー」の需要増大に対応すると同時に、生産性改善および製品増産による原価低減を進めてまいります。再生ナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）は高付加価値シフトを継続し大口顧客からの受注拡大を進めると同時に、前期から続き生産性の改善に取組み製造原価低減を進めてまいります。さらに、三菱ケミカル株式会社が計画する油化ケミカルリサイクル事業を始めとした廃プラスチック原料供給事業の事業基盤を確立してまいります。

資源ビジネスにおいては、使用済みタイルカーペット回収時に発生する混合廃棄物の処分を大手ディベロッパーや大手ゼネコンから受託することで取引量の拡大を進めてまいります。また、取引量拡大による産業廃棄物処分量の増加に対応するため、中間処分施設の能力増強を計画しております。

さらに、廃プラスチック調達網の構築を進め廃プラスチック資源循環事業の事業基盤構築を加速してまいります。

以上により、2026年6月期の連結業績の通期見通しは、売上高4,800,000千円、営業利益380,000千円、経常利益330,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益300,000千円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	511,956	692,215
受取手形	1,713	400
電子記録債権	14,994	13,710
売掛金	495,291	435,577
契約資産	14,784	—
商品及び製品	133,328	143,922
仕掛品	24,298	15,860
原材料及び貯蔵品	37,354	59,881
前払費用	30,686	34,747
未収還付法人税等	29,477	4,443
未収消費税等	1,678	1,709
その他	15,775	31,704
貸倒引当金	△2,512	△1,233
流動資産合計	1,308,827	1,432,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,269,682	1,321,665
機械装置及び運搬具	1,290,033	1,319,104
工具、器具及び備品	102,995	113,960
土地	520,100	520,100
リース資産	340,987	312,035
減価償却累計額	△1,728,527	△1,833,876
有形固定資産合計	1,795,271	1,752,989
無形固定資産	12,027	29,473
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
繰延税金資産	47,892	81,017
敷金及び保証金	192,896	160,588
出資金	670	675
その他	22,758	16,453
貸倒引当金	△34,425	△32,150
投資その他の資産合計	249,791	246,583
固定資産合計	2,057,091	2,029,046
資産合計	3,365,918	3,461,986

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	152,046	178,055
短期借入金	50,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	475,224	548,908
リース債務	65,613	63,234
未払金	104,540	62,121
未払費用	108,032	106,255
未払法人税等	11,047	15,180
未払消費税等	26,273	30,862
受注損失引当金	690	—
その他	16,683	23,528
流動負債合計	1,010,151	1,108,145
固定負債		
長期借入金	1,958,664	1,782,691
リース債務	109,264	106,955
繰延税金負債	53	—
資産除去債務	157,575	158,504
その他	—	31,283
固定負債合計	2,225,558	2,079,434
負債合計	3,235,709	3,187,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	162,885	162,885
資本剰余金	203,768	203,768
利益剰余金	△300,876	△154,793
自己株式	△251	△251
株主資本合計	65,526	211,609
新株予約権	64,682	62,796
純資産合計	130,209	274,406
負債純資産合計	3,365,918	3,461,986

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）	当連結会計年度 （自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）
売上高	3,852,638	4,070,479
売上原価	2,638,332	2,746,291
売上総利益	1,214,306	1,324,188
販売費及び一般管理費	1,181,630	1,141,964
営業利益	32,675	182,224
営業外収益		
受取利息	15	381
受取配当金	11	10
助成金収入	3,421	2,000
受取保険金	—	1,312
保険解約金	2,166	25
その他	769	4,184
営業外収益合計	6,383	7,914
営業外費用		
支払利息	31,889	38,425
その他	599	505
営業外費用合計	32,489	38,931
経常利益	6,569	151,206
特別利益		
固定資産売却益	30,507	5,805
新株予約権戻入益	1,107	5,225
特別利益合計	31,614	11,030
特別損失		
固定資産除却損	3,261	4,643
減損損失	14,086	26,073
その他	1,385	432
特別損失合計	18,732	31,148
税金等調整前当期純利益	19,451	131,088
法人税、住民税及び事業税	19,547	18,184
法人税等調整額	△5,023	△33,178
法人税等合計	14,523	△14,994
当期純利益	4,928	146,082
親会社株主に帰属する当期純利益	4,928	146,082

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）		
	前連結会計年度 （自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）	当連結会計年度 （自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）
当期純利益	4,928	146,082
包括利益	4,928	146,082
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	4,928	146,082
非支配株主に係る包括利益	—	—

（３）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	160,196	201,080	△305,804	△251	55,220	44,481	99,702
当期変動額							
親会社株主に帰属する 当期純利益			4,928		4,928		4,928
新株の発行 （新株予約権の行使）	2,688	2,688			5,377	△1,241	4,136
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）					—	21,442	21,442
当期変動額合計	2,688	2,688	4,928	—	10,305	20,201	30,507
当期末残高	162,885	203,768	△300,876	△251	65,526	64,682	130,209

当連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	162,885	203,768	△300,876	△251	65,526	64,682	130,209
当期変動額							
親会社株主に帰属する 当期純利益			146,082		146,082		146,082
新株の発行 （新株予約権の行使）					—		—
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）					—	△1,885	△1,885
当期変動額合計	—	—	146,082	—	146,082	△1,885	144,197
当期末残高	162,885	203,768	△154,793	△251	211,609	62,796	274,406

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）	当連結会計年度 （自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	19,451	131,088
減価償却費	224,395	225,837
減損損失	14,086	26,073
貸倒引当金の増減額（△は減少）	5,767	△3,554
受取利息及び受取配当金	△26	△391
支払利息	31,889	38,425
固定資産除売却損益（△は益）	△27,245	△1,162
売上債権の増減額（△は増加）	3,163	77,095
棚卸資産の増減額（△は増加）	43,749	△24,682
仕入債務の増減額（△は減少）	△37,338	26,009
新株予約権戻入益	△1,107	△5,225
未払金の増減額（△は減少）	28,934	△34,946
未払消費税等の増減額（△は減少）	△18,206	12,463
未収消費税等の増減額（△は増加）	△1,678	△30
その他	12,641	20,920
小計	298,476	487,920
利息及び配当金の受取額	26	391
利息の支払額	△33,329	△38,504
法人税等の還付額	7,215	30,203
法人税等の支払額	△96,972	△20,355
営業活動によるキャッシュ・フロー	175,415	459,656
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△85,265	△160,133
有形固定資産の売却による収入	36,323	18,572
無形固定資産の取得による支出	△10,918	△24,033
敷金及び保証金の差入による支出	△76,857	△2,419
敷金及び保証金の返還による収入	170	41,990
その他	△10	△39
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,557	△126,063
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	30,000
短期借入金の返済による支出	△50,000	—
長期借入れによる収入	250,000	420,000
長期借入金の返済による支出	△502,166	△522,289
新株予約権の行使による株式の発行による収入	5,244	—
リース債務の返済による支出	△75,015	△70,493
割賦債務の返済による支出	△27,920	△10,551
財務活動によるキャッシュ・フロー	△399,857	△153,334
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△360,999	180,258
現金及び現金同等物の期首残高	859,517	498,518
現金及び現金同等物の期末残高	498,518	678,776

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別に会社又は事業部を置き、各会社又は事業部が取り扱うサービス・製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループでは、会社又は事業部を基礎としたサービス・製品別のセグメントから構成されており、「素材ビジネス」及び「資源ビジネス」の２つを報告セグメントとしております。

「素材ビジネス」は、首都圏を中心に製品の原料となる使用済みカーペットタイルの処分受託を行っており、また調達した使用済みカーペットタイルを切削又は、粉碎加工することにより生成された再生樹脂、自動車エアバッグの製造工程から出る端材や使用済み漁網を裁断、洗浄、熱可塑化して押出加工することにより生成された再生樹脂等を販売しております。「資源ビジネス」は、首都圏を中心に産業廃棄物の中間処理・再資源化事業及び収集運搬事業、オフィス・マンションの解体工事業を行っております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,330,705	2,521,933	3,852,638	3,852,638
セグメント間の内部売上高 又は振替高	60,607	1,059	61,666	61,666
計	1,391,313	2,522,992	3,914,305	3,914,305
セグメント利益	122,220	486,779	608,999	608,999
セグメント資産	1,493,280	1,721,758	3,215,039	3,215,039
その他の項目				
減価償却費	116,372	97,640	214,013	214,013
減損損失	14,086	—	14,086	14,086
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	71,785	53,990	125,776	125,776

当連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	素材ビジネス	資源ビジネス	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,221,572	2,848,906	4,070,479	4,070,479
セグメント間の内部売上高 又は振替高	73,800	1,144	74,944	74,944
計	1,295,373	2,850,051	4,145,424	4,145,424
セグメント利益	49,096	606,508	655,605	655,605
セグメント資産	1,403,755	1,761,387	3,165,142	3,165,142
その他の項目				
減価償却費	114,406	91,232	205,639	205,639
減損損失	26,073	—	26,073	26,073
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	41,753	110,289	152,042	152,042

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,914,305	4,145,424
セグメント間取引消去	△61,666	△74,944
連結財務諸表の売上高	3,852,638	4,070,479

（単位：千円）

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	608,999	655,605
全社費用（注）	△587,554	△472,781
セグメント間消去	11,206	△197
未実現利益の調整額	23	△402
連結財務諸表の営業利益	32,675	182,224

（注） 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

（単位：千円）

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,215,039	3,165,142
セグメント間の債権の相殺消去	△31,330	△6,934
全社資産(注)	182,209	305,714
未実現利益の調整額	—	△1,935
連結財務諸表の資産合計	3,365,918	3,461,986

（注）全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	214,013	205,639	10,382	20,197	224,395	225,837
減損損失	14,086	26,073	—	—	14,086	26,073
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	125,776	152,042	16,900	80,803	142,676	232,846

（注）有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額及び未実現利益の調整額であります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

減損損失に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり純資産額	19円57銭	63円20銭
1株当たり当期純利益	1円47銭	43円63銭
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	—	—

- （注） 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	4,928	146,082
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	4,928	146,082
普通株式の期中平均株式数(株)	3,342,245	3,348,284
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第2回新株予約権 (新株予約権の数68個 (普通株式6,800株)) 第4回新株予約権 (新株予約権の数305個 (普通株式30,500株)) 第5回新株予約権 (新株予約権の数300個 (普通株式30,000株)) 第6回新株予約権 (新株予約権の数243個 (普通株式24,300株))	第2回新株予約権 (新株予約権の数65個 (普通株式6,500株)) 第4回新株予約権 (新株予約権の数275個 (普通株式27,500株)) 第5回新株予約権 (新株予約権の数200個 (普通株式20,000株)) 第6回新株予約権 (新株予約権の数210個 (普通株式21,000株))

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
純資産の部の合計額(千円)	130,209	274,406
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	64,682	62,796
(うち新株予約権(千円))	(64,682)	(62,796)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	65,526	211,609
1株当たりの純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(株)	3,348,284	3,348,284

（重要な後発事象）

該当事項はありません。